





2030年ビジョン

Phase 1

中期経営計画

(2022-2024)

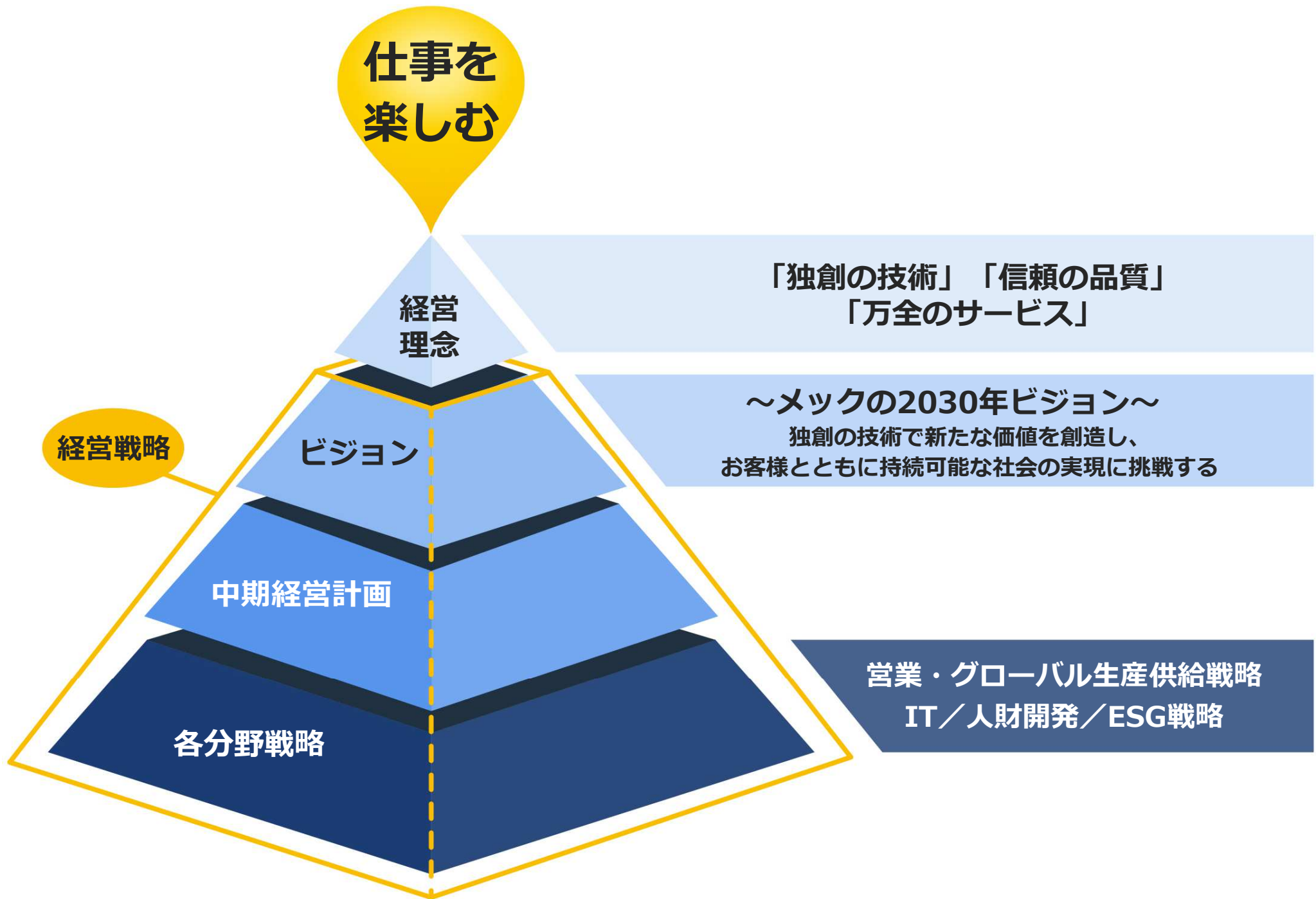
2022年2月14日

-  **1 中計策定に当たっての概念**
-  **2 2030年に目指すべき企業像**
-  **3 中期経営計画 2022-2024**
～メックの2030年ビジョン～ Phase1
 - ① 数値目標
 - ② 事業環境
 - ③ 事業分野
 - ④ 人財開発分野
 - ⑤ ESG分野
-  **4 資本政策**

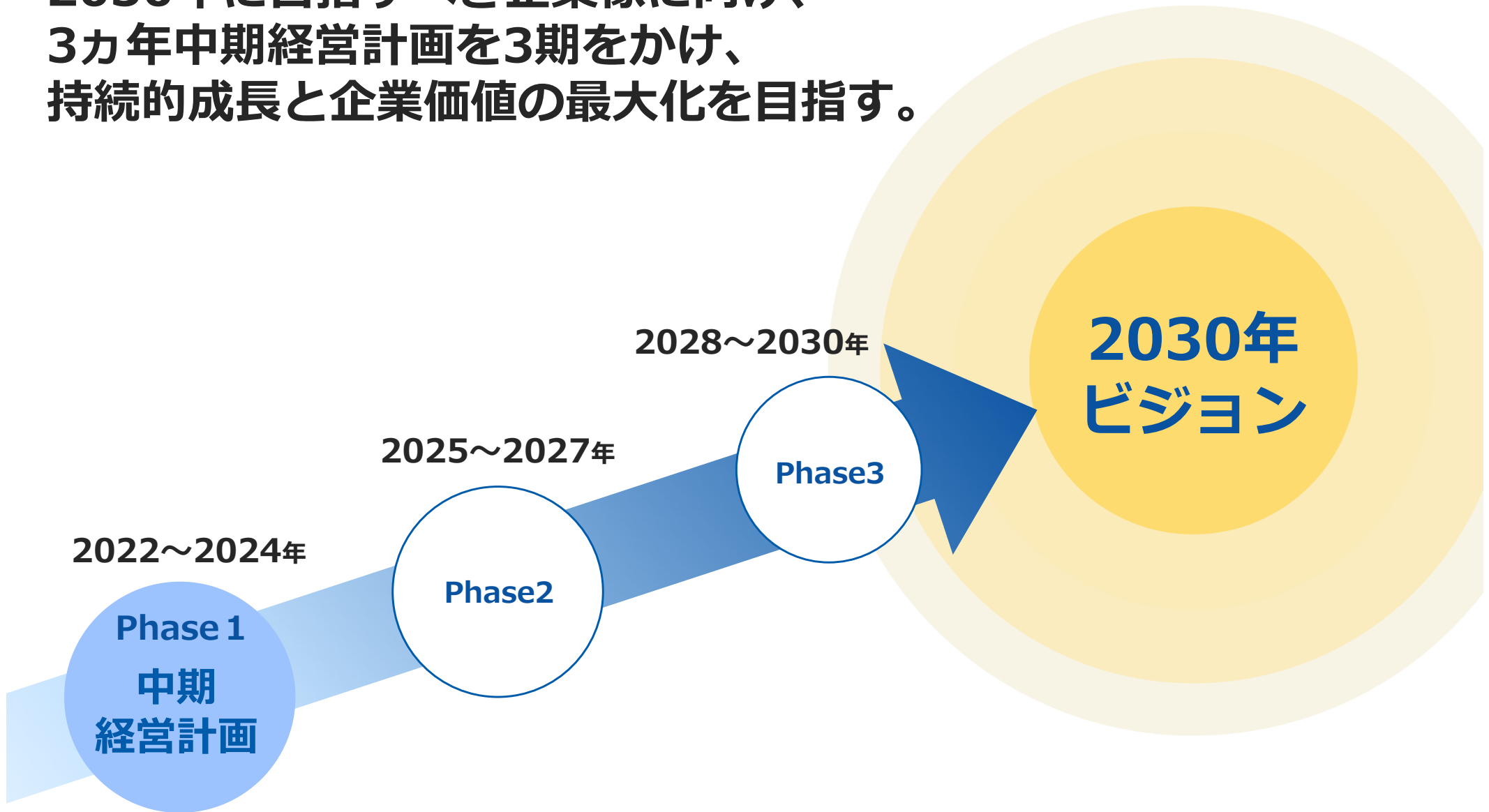


1

中計策定に当たって の概念



2030年に目指すべき企業像に向け、
3カ年中期経営計画を3期をかけ、
持続的成長と企業価値の最大化を目指す。





2

2030年に目指すべき 企業像



**独創の技術で新たな価値を創造する
真のグローバルカンパニーになる**

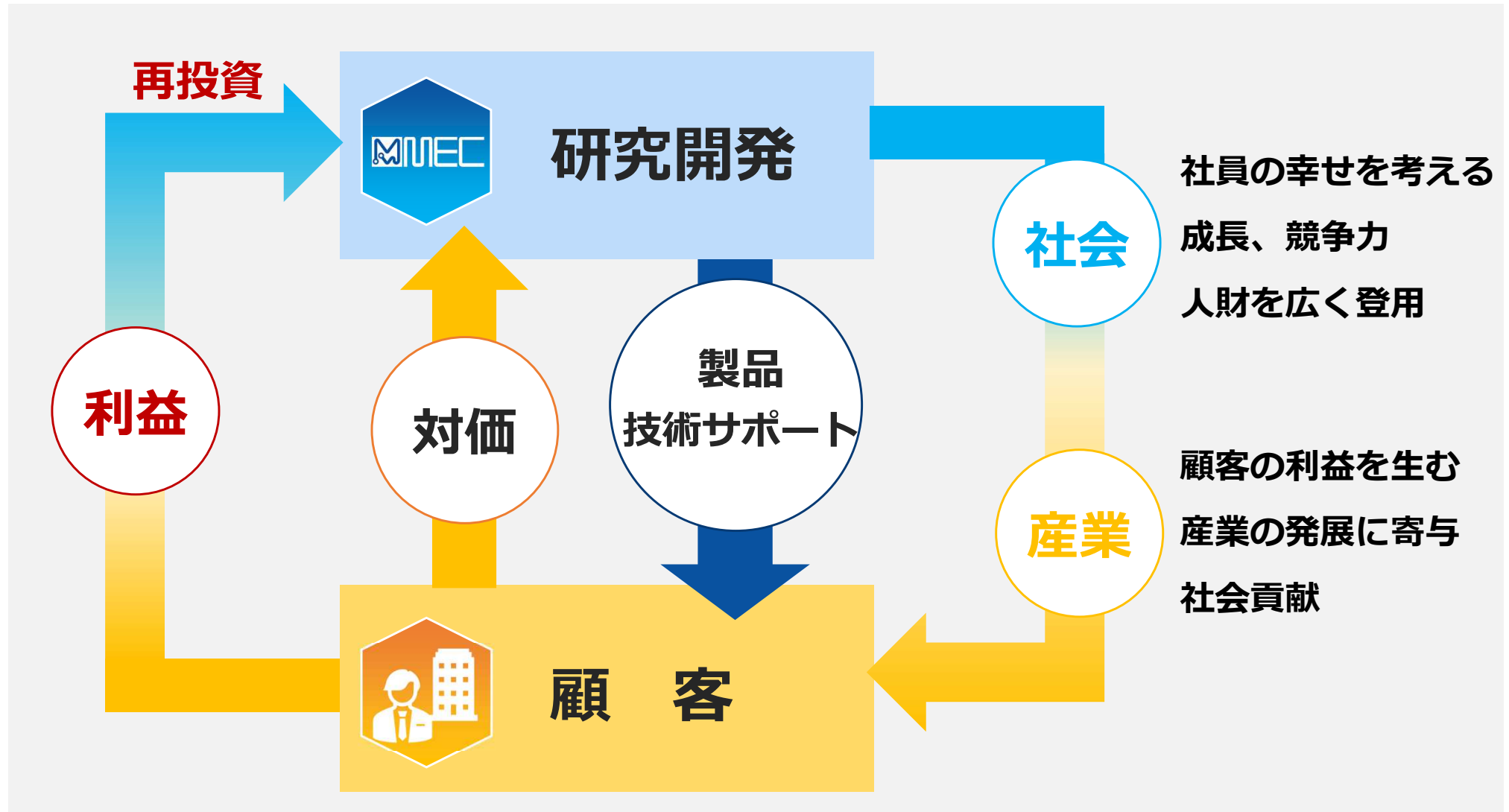


研究開発型企业であり続ける



独創のAI企業としての顔をもつ

研究開発型企業として価値ある製品を顧客に提供し、
社会に貢献し続ける。



創造と変革

「つくる」を変える

「うる」を変える



人財像

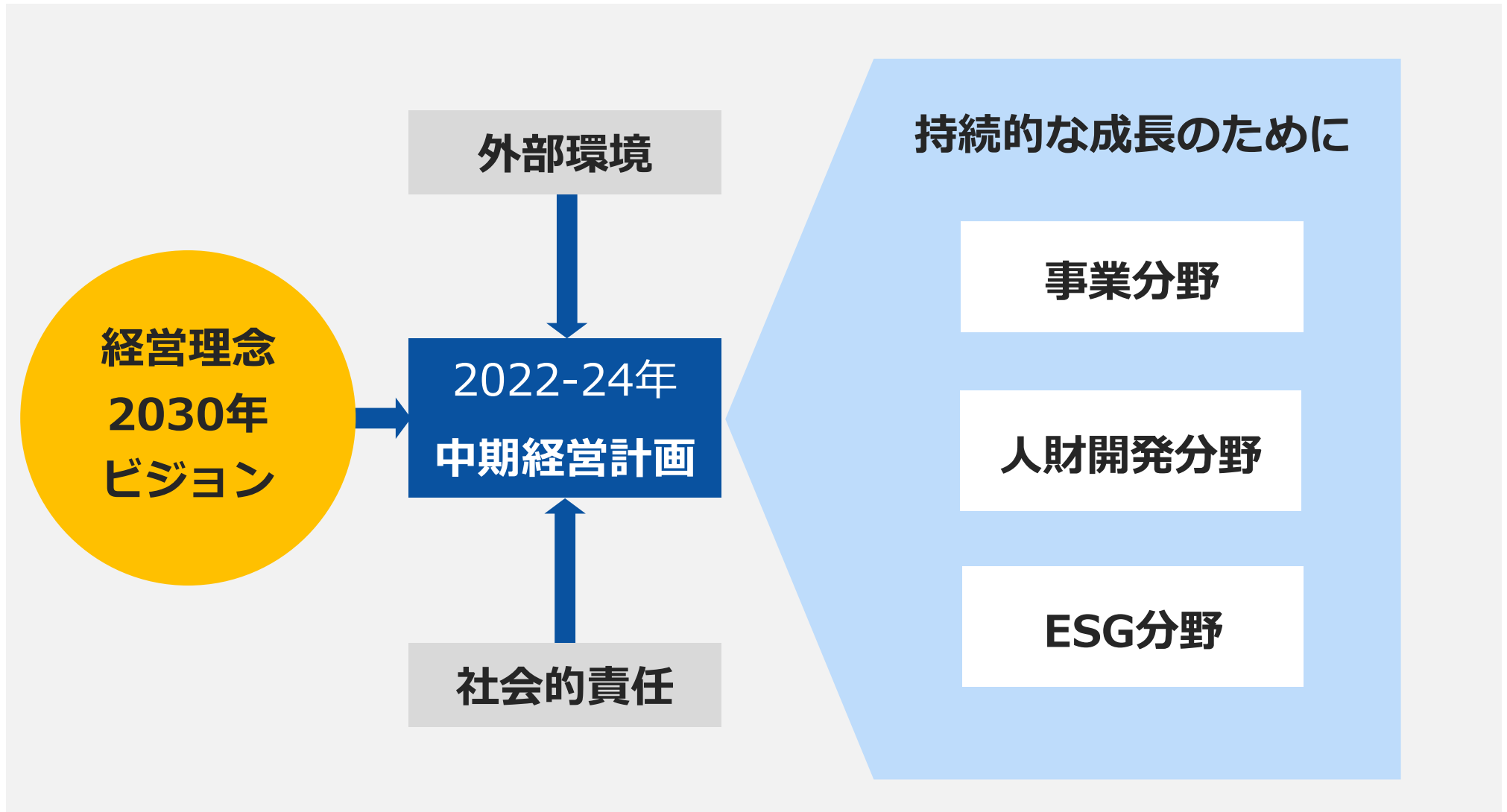
各自自立自走し、連帯できる人財を目指す
熱意をもち、挑戦を続ける人である
基本的なデジタルリテラシーをもつ



組織

役割に応じて優秀な人財の確保を行い、
適正に配置し、十分に活躍できる環境を
準備するよう最善を尽くす

2030年に目指すべきビジョン・指針にむけ、外部環境の変化を見据え、持続的な成長のために取り組む。



中期経営計画 2022-2024

～メックの2030年ビジョン～ Phase1



3

① 数値目標

社会の変化・変革

- ◆ DXの進展
- ◆ 米中2軸の世界観
- ◆ 脱炭素への動き
- ◆ SDGsへの挑戦

2024年数値目標（連結）

営業利益率

20%以上

ROE

10%以上

中期経営計画 2022-2024

～メックの2030年ビジョン～ Phase1



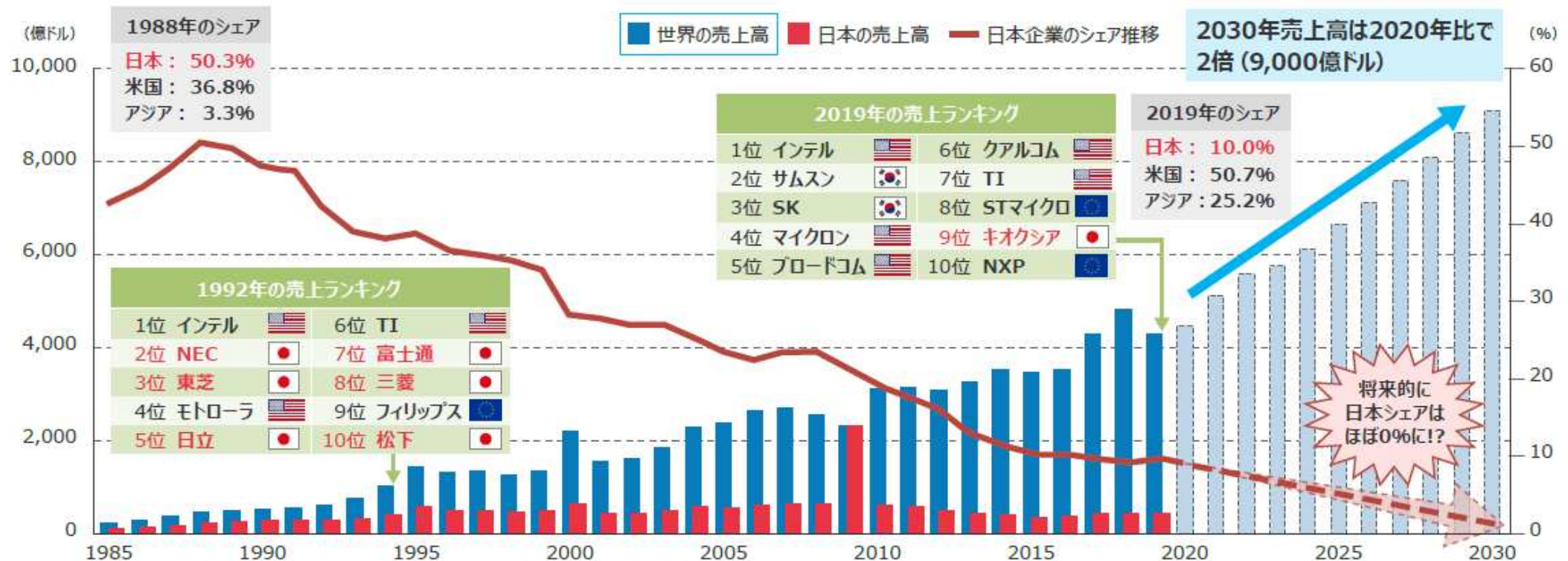
3

②事業環境

DXの進展・脱炭素などの社会的動向を背景に

- データ量の増加・通信の高速化が促進される
- センシング・モニタリング・シュミレーティングなどが不可欠となる

➡ 半導体が飛躍的に増加することが当社の成長を牽引



出典：経済産業省『半導体戦略（概略）2021年6月p.60』

中期経営計画 2022-2024

～メックの2030年ビジョン～ Phase1



③ 事業分野

技術・マーケティング

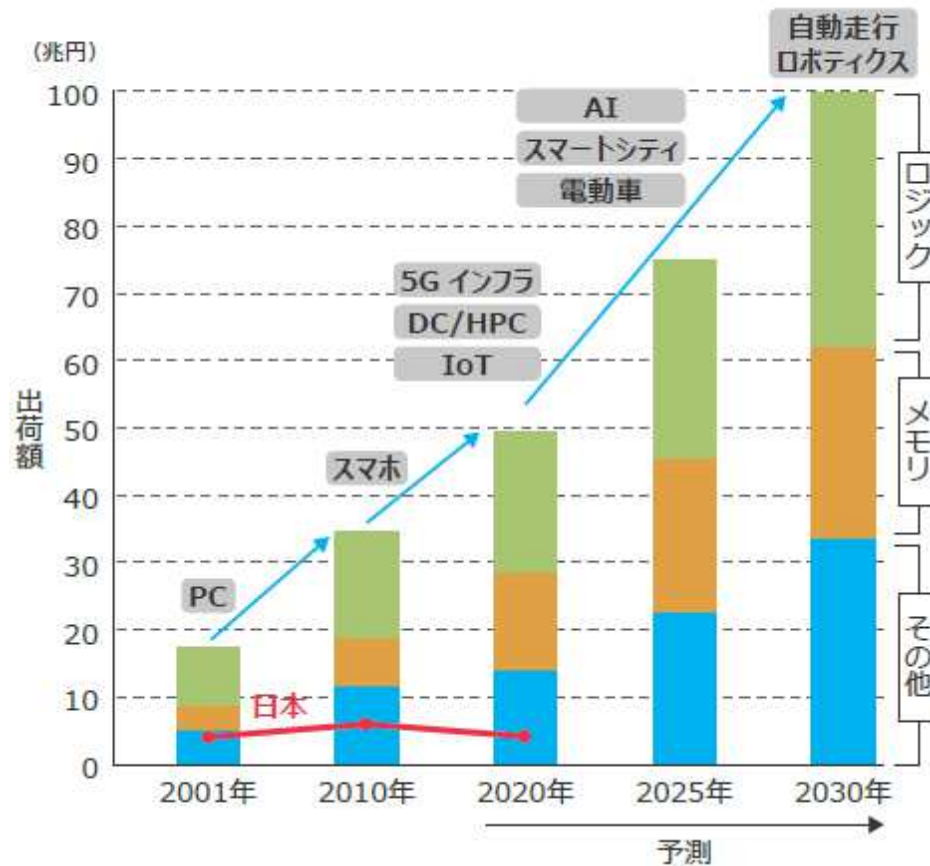
- 物理密着から化学密着への技術変化への対応
 - ・ 化学密着技術の確立
 - ・ 次世代デファクトスタンダードの地位確立
- 既存技術の応用展開
- 新規市場への進出
- 新規事業の創出

生産・ロジスティクス

- グローバル生産戦略の構築
 - ・ 連結視点での安定した調達、生産、供給体制の確立

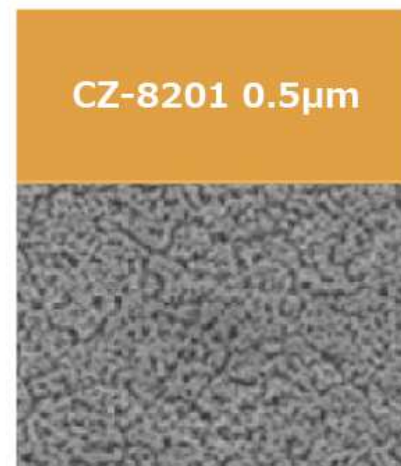
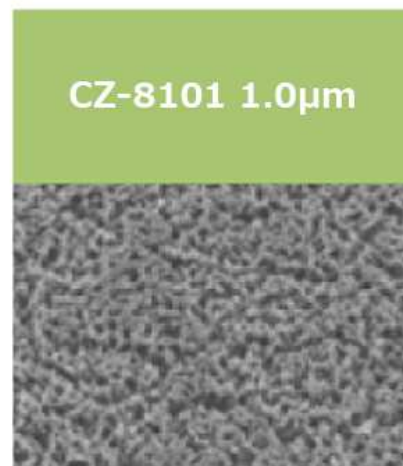
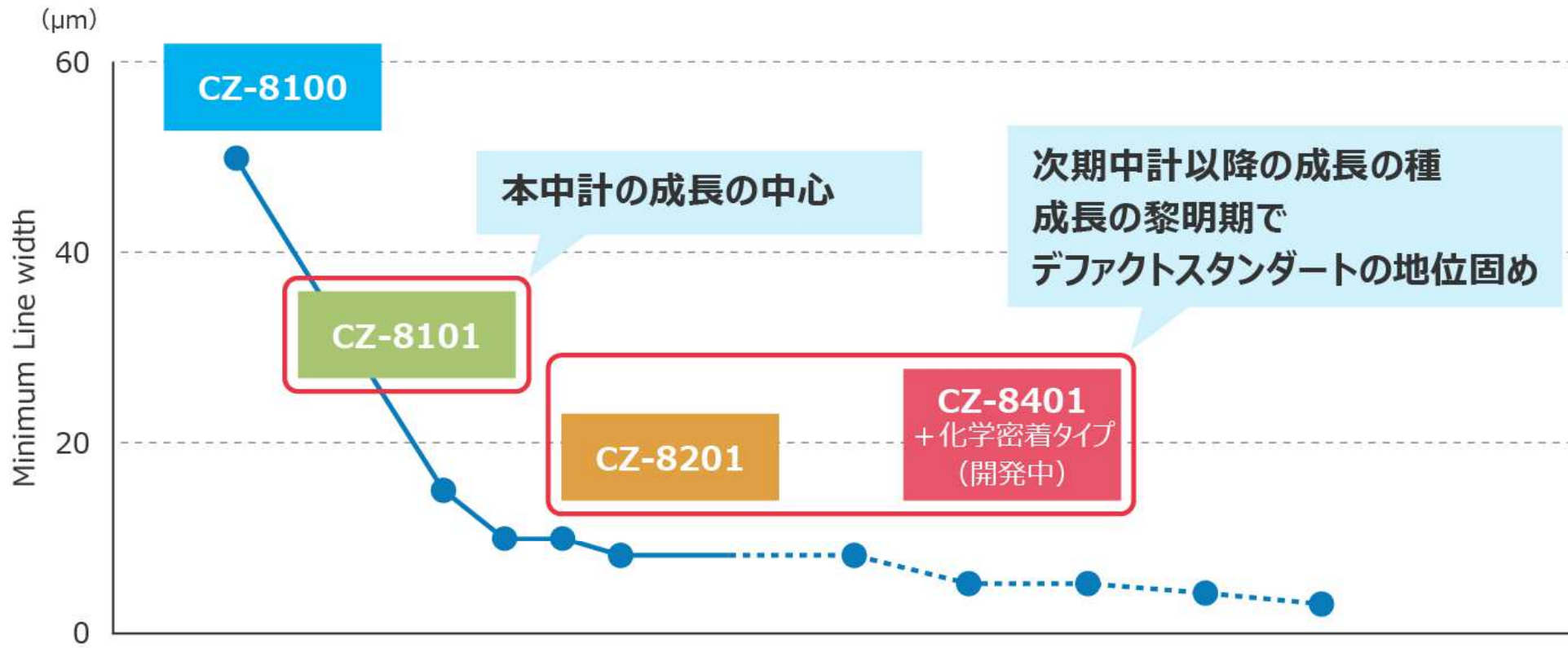
- 半導体市場は、デジタル革命の進展に伴い、今後も右肩上がり成長（2030年約100兆円）
- ボリュームゾーンは、スマホ・PC・DC・5Gインフラで使われるロジックとメモリで、米韓台が市場席巻
- 今後、5G・ポスト5Gインフラの基盤の上に、エッジコンピューティング・アプリケーション・デバイス（自動運転、FA等）での新たな半導体需要の成長が見込まれ、これが日本の参入機会のラストチャンス

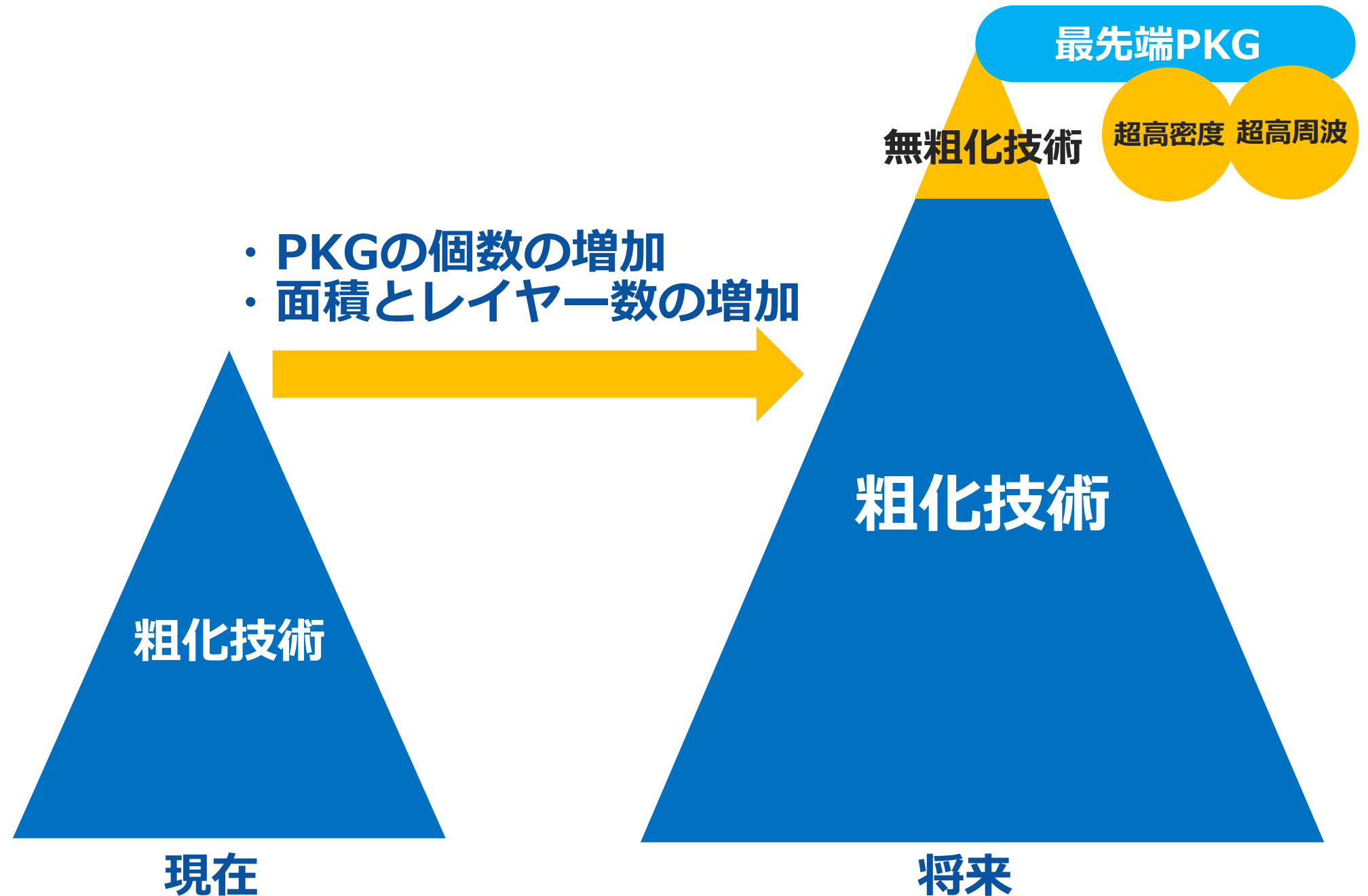
世界の半導体市場



	市場規模 2018年	製品例	主要企業
ロジック (制御用)	21兆円	プロセス	intel, tsmc
		GPU	Qualcomm, NVIDIA
		SoC	
メモリ (データ記憶用)	18兆円	DRAM	SAMSUNG, SK hynix
		NAND	Micron, KIOXIA
その他	15兆円	アナログLSI	Infineon, SONY
		パワー半導体	ON, MITSUBISHI ELECTRIC
		イメージセンサ	

アナログ LSI: RF、PMIC 等 (出典) Omdia のデータを基に経済産業省作成





マーケットイン



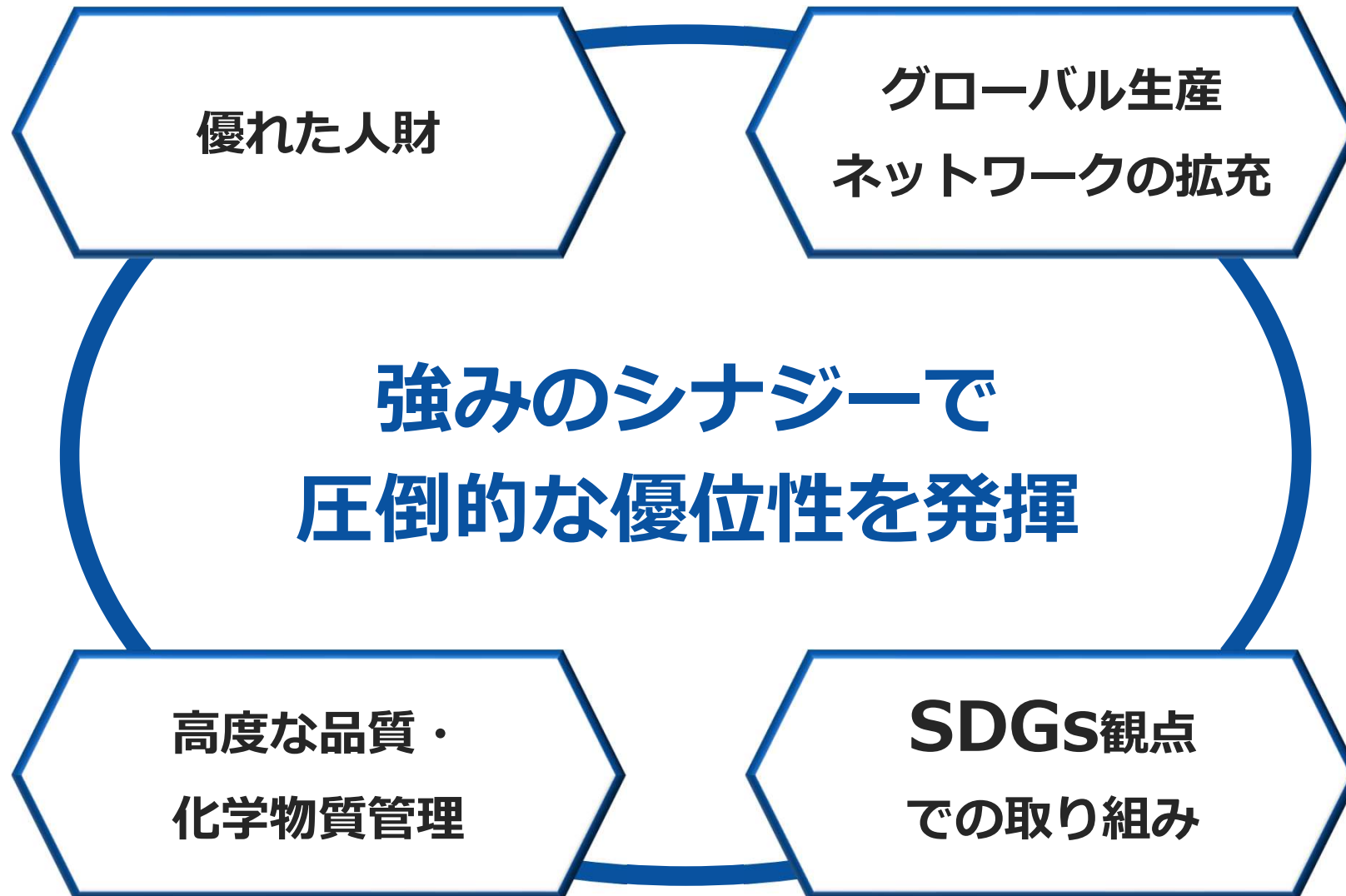
- 〈見えている市場〉
- 半導体製造工程
 - パワーデバイス
 - 光融合デバイス など



プロダクトアウト



- 〈潜在市場〉
- コア技術をベースに
新規市場を開拓しニッチトップ
の地位を確立



中期経営計画 2022-2024

～メックの2030年ビジョン～ Phase1



3

④ 人財開発分野

社是・経営理念



経営戦略

2030ビジョン

中期経営計画



目指す人財像・組織の実現に向けての人事戦略

① 動的な人財ポートフォリオ構築

② 多様化対応（雇用形態・働き方）

③ リスキリング

④ 従業員エンゲージメント



各ステージで具体施策を展開

採用

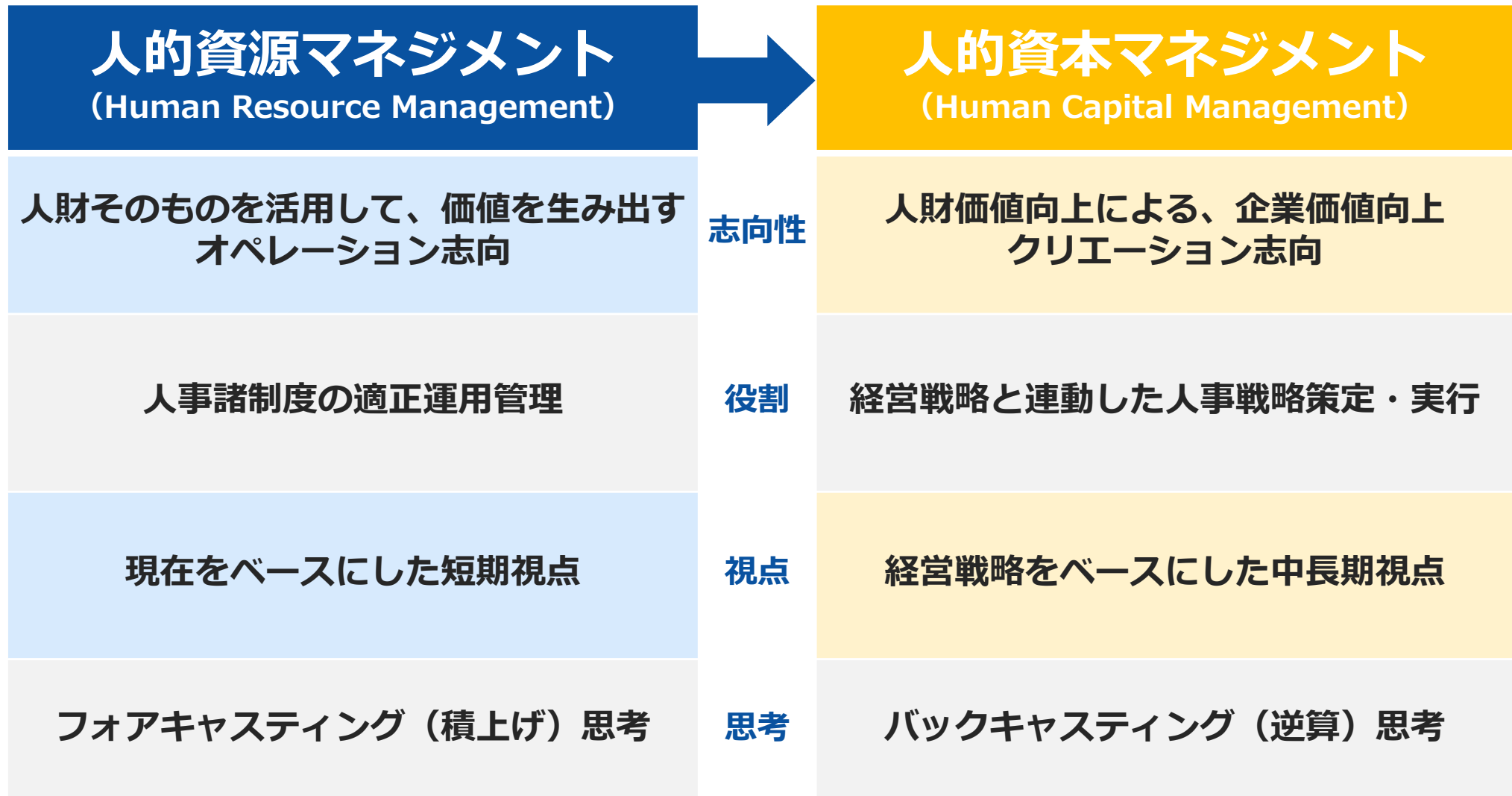
配置

育成

評価

報酬

代謝



「人的資源マネジメント」に加えて「人的資本マネジメント」による人事戦略を実行することで、短期・中期・長期の視点で、経営に資する人的価値情報の創出・提供を行う

中期経営計画 2022-2024

～メックの2030年ビジョン～ Phase1

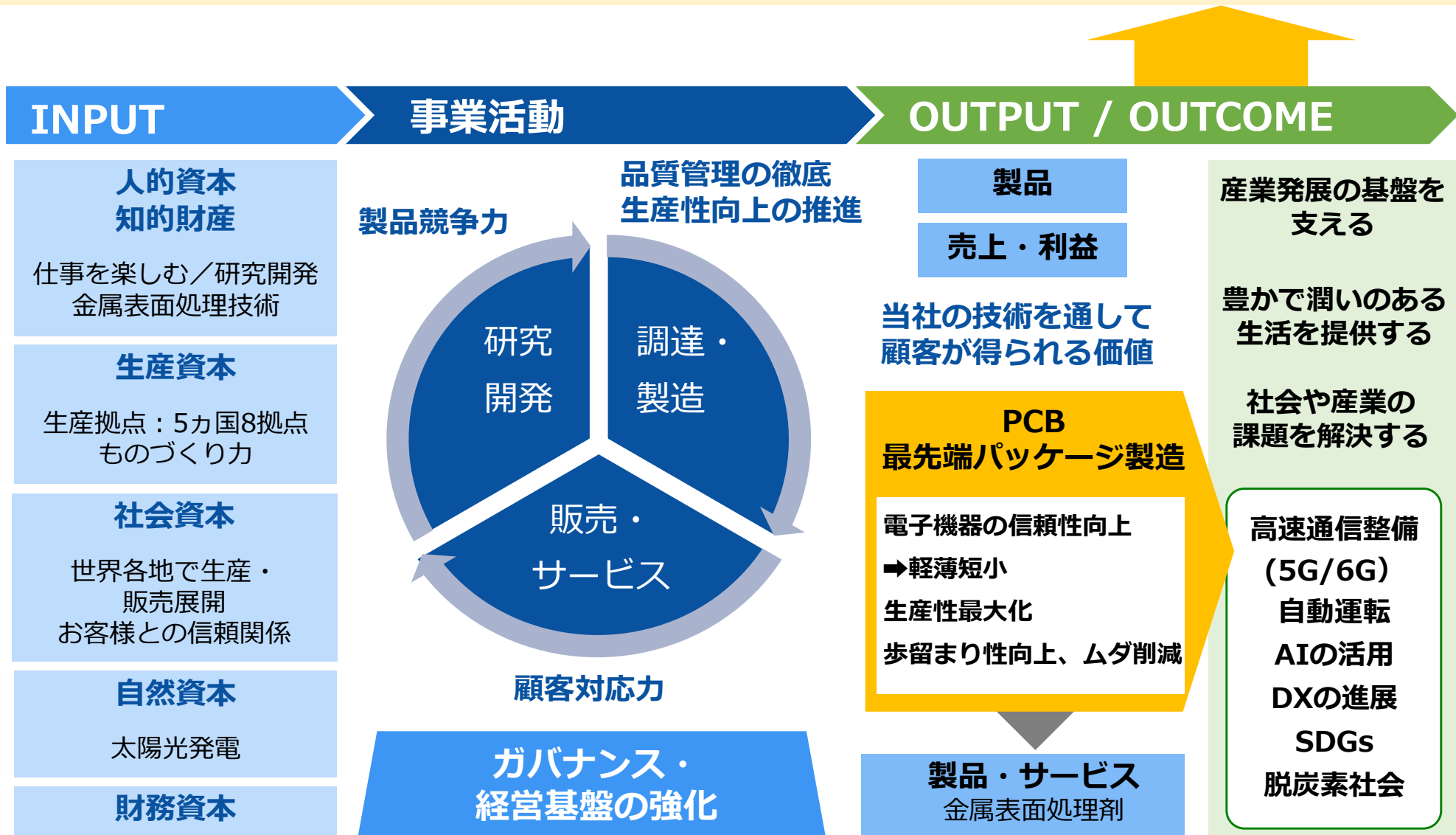


3














⑤ ESG分野

経営理念

「独創の技術」「信頼の品質」「万全のサービス」を信条に、自由に着想し、グローバルな事業活動を通して界面価値創造を実現することで豊かで潤いのある社会と環境づくりに貢献する



未来を切り拓く研究開発	高付加価値製品の開発・提供 お客さまの生産効率向上・歩留まり向上への寄与 環境負荷低減製品の開発
適正な調達、生産、物流	SCM、グリーン調達、グローバル調達 グローバル生産・供給体制の構築
環境保全	適正な化学物質管理 BCP対応
品質と安全	安全衛生管理、品質保証 ステークホルダーとの長期的信頼関係構築
多様な人財の活用	健康経営、ワークライフバランス キャリア形成、自立自走し連帯（エンゲージメント）
経営基盤の強化	ガバナンス 適正な情報開示、セキュリティ リスクマネジメント

<p>当社の使命</p>	<p>産業の発展に寄与し、企業として成長する</p>	<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> 
<p>当社の責任</p>	<p>資源を使用し、化学物質を扱う者として 調達・取扱い・製品開発・製造・廃棄に責任</p>	<p>12 つくる責任 つかう責任</p> 
<p>事業を通して 実現する世界</p>	<p>人として幸福に・成長を</p>	   
	<p>水</p>	 
	<p>平等協働</p>	 
<p>課 題</p>	<p>気候変動への貢献エネルギー問題</p>	 
<p>社会貢献</p>	<p>森づくり</p>	<p>15 陸の豊かさも守ろう</p> 

継続課題

社会・産業・顧客の発展に寄与する

バリューチェーンを通して環境負荷低減に寄与する

新たに取り組む課題・世の中の要求

環境負荷低減・環境保全にさらに取り組む

<p>研究開発に関する 投資</p>	<p>毎年 連結売上高の約 10%</p>
<p>設備投資</p>	<p>3年累計 約 50 億円</p>
<p>株主還元</p>	<p>1株あたり年間配当金の維持・成長 (連結配当性向：30%目標) 自己株取得は状況に応じて機動的に実施</p>

界面価値創造

Creating and Fostering Value
at Various Interfaces



<https://www.mec-co.com/>

【連絡先】メック株式会社 コーポレートコミュニケーション室

Tel. 06-6401-8160

Email. mec_ir@mec-np.com

このプレゼンテーション資料には、2022年2月14日現在の将来に関する予測が含まれております。記述している将来予測および業績予測は、当社が現時点で入手できる情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知ください。